

## 「黒岳クリーンアップ大作戦」実施結果

- 目的 : 黒岳等の自然観察を通じ大雪山地域の保全の重要性を理解し大雪山国立公園と森林生態系保護への関心を高める。
- 日時 : 平成29年8月18日(金) 9:00~13:00
- 集合解散 : 黒岳ロープウェイ山麓駅
- 活動場所 : 大雪山国立公園黒岳7合目、5合目 層雲峡ビジターセンター
- 参加者 : 8名(小学生4名 保護者4名)
- 主催 : 環境省上川自然保護官事務所、林野庁上川中部森林管理署
- 運営 : NPO法人大雪山自然学校
- 協力 : 層雲峡ビジターセンター、上川町
- 内容 : 黒岳7合目の登山道で国立公園や森林生態系保護の取組について解説した。黒岳5合目で高山植物や動物について自然観察を行った。層雲峡ビジターセンターで大雪山の成立ち等を学んだ。  
※当日雨天のため、内容を変更して実施した。



### ■ 開会式、アイスブレイク

黒岳ロープウェイ山麓駅前にて開会式を行った。主催者である環境省樹首席自然保護官の挨拶後、大雪山自然学校の荒井から一日の流れを説明した。

スタッフ・参加者の自己紹介後、簡単なゲームでアイスブレイクを行った。



### ■ 入山前のレクチャー

環境省樹首席自然保護官から入山前に、山のルールとマナーについてレクチャーを受けた。

「ゴミを落とさない」、「植物を傷つけない」、「トイレの無い場所では携帯トイレを利用する」など、守らなければいけない点を確認した。



### ■フィールドワーク1（7合目登山道）

雨水や雪解け水が流れることで登山道が侵食されないよう、登山道から水を排出するための導流工を作るなどして対策をしているという説明を受けた。登山道では実際に水が流れる様子も確認できた。また、センサー式の登山者カウンターを設置して、利用者数を調査していることについても説明を受けた。



### ■フィールドワーク2（5合目散策路）

五合目散策路では、エゾサンショウウオの幼生や高山植物を観察した。

高松台展望台から層雲峡溪谷を見下ろし、火山噴火と石狩川が作った険しい層雲峡溪谷を観察した。

遠くには白い噴煙を上げる場所も見られ、大雪山は今でも活発に活動をしている火山だということがわかった。



平成29年8月18日  
黒岳クリーンアップ大作戦



#### ■大雪山・層雲峡渓谷の成り立ち

ビクターセンター解説員から展示物の説明を受けた。  
過去の大きな噴火で発生した火砕流によって堆積したものが川の水で削られて層雲峡峡谷ができたことを理解した。

また大雪山には多くの貴重な動植物が生息していることも解説と展示を通して学んだ。



#### ■まとめ

最後に今日一日で学んだことを全員で再確認した。

林野庁飯塚上川中部森林管理署長から挨拶があり、記念のバッジなどが配られた。

---

---

#### <成果>

将来世代を担う子どもたちに対して、国立公園と森林生態系保護についてPRし、その保全の必要性を発信する有意義な機会となった。

## 参考 1 当日出席者

### <参加者>

○ 3 組 8 名

保護者 4 名、小学生 4 名（2 年生 3 名、3 年生 1 名）

### <スタッフ>

○ 環境省上川自然保護官事務所

榊厚生首席自然保護官

大久保智子自然保護官補佐

岩城大洋自然保護官補佐

○ 林野庁上川中部森林管理署

飯塚淳署長

宇佐美和宏主任森林整備官

中嶋佑輔森林官

阿部青空職員

石塚直樹首席森林官

野上芳則 G S S

古山亮平 G S S

○ 層雲峡ビジターセンター

佐久間弘

小森夏枝

小林奈津美

○ 大雪山自然学校

荒井一洋

小沼秀樹

高橋可翔

菅原圭祐

# 黒岳クリーンアップ大作戦

## 8月18日(金)

### 親子の参加者募集中!



環境省自然保護官(レンジャー)、林野庁森林官(フォレスター)と一緒に  
大雪山国立公園を守る取組に参加しませんか?



#### 実施内容

ロープウェイとリフトで7合目まで登った後、黒岳山頂に向かい登山します。山頂から黒岳石室に向かい、昼食を食べたあと黒岳旧キャンプ場の清掃活動、高山植物などの自然観察をして下山次第終了になります。

**日時** 平成29年8月18日(金) 9:00 ~ 17:40  
**場所** 上川町層雲峡 黒岳石室周辺  
**対象** 小学1年生~中学3年生とその保護者  
**定員** 30名(先着順)  
**参加費** 500円(保険代)  
**集合** 層雲峡ビジターセンター(現地集合・解散)

#### 開催目的

清掃活動や自然観察を通じて大雪山山岳地域保全の取組の重要性を、大雪山周辺地域の親子に理解してもらい、大雪山国立公園と森林生態系保護への関心を高め、将来的に保全の担い手になってもらうことを期待するものです。

お問い合わせ・申し込み(平日9:00~18:00)  
NPO法人大雪山自然学校(黒岳クリーンアップ大作戦事務局)  
〒071-1404 北海道上川郡東川町西4号北46番地  
TEL 0166-82-6500 FAX 0166-82-6500  
Email desk@daisetsu.or.jp 担当 荒井(あらい)  
主催 環境省上川自然保護官事務所・林野庁上川中部森林管理署

※本事業は、平成29年度大雪山国立公園保全担い手育成事業(子どもパークレンジャー)として実施します。



2017年8月18日(金)

大雪山国立公園

# 黒岳クリーンアップ大作戦



カムイミントラ～神々の遊ぶ庭～ アイヌの人々は大雪山をこう呼んでいます。  
層雲峡の谷底から黒岳山頂まで上がると、ヒグマやキタキツネが暮らす広大な高山帯が広がっています。今回は日本を代表する大雪山国立公園を訪ね、環境省自然保護官と林野庁森林官と一緒に高山植物について学び、清掃活動を行います。

- <対象> 小学1年生～中学3年生とその保護者 ※他学年の参加はご相談ください
- <参加費> 500円(保険代)
- <場所> 大雪山国立公園 黒岳石室周辺(住所:上川町層雲峡)  
(駐車場は層雲峡温泉公共駐車場をご利用下さい。)
- <集合・解散> 層雲峡ビジターセンター 集合 9:00 解散 17:40(予定)
- <内容> ロープウェイとリフトで層雲峡溪谷の崖を一気に登り、火山の特徴に気づく。  
黒岳登山(2時間程度)で、大雪山の高山植物を学ぶ。  
黒岳旧キャンプ場の清掃活動で、大雪山国立公園を保全する取組を知る。  
参加者全員に大雪山ボランティアバッジを進呈。
- <服装> T-シャツ、長そでシャツ、長ズボン、帽子、手袋、履きなれた靴  
※速乾性のある服(ジャージ等、化繊素材のもの)をご用意ください。(ジーンズ不可)  
※天候にあわせて重ね着ができる服装でご参加ください。気温が10度以下になる場合があります。
- <持ち物> 雨具(上下分かれているモノを)、防寒着(フリース等)、お弁当、水とう、おやつ、タオル、  
筆記用具、\*リュックサックに入れて背負えるようにしてください。
- <主催> 環境省 上川自然保護官事務所、林野庁上川中部森林管理署
- <企画・運営> NPO法人大雪山自然学校
- <申込方法> Email、FAX、お電話でお申込み下さい。
- <申込締切> 8月14日(月)
- <緊急連絡先> ①荒井一洋 080-3262-9325 ②小沼秀樹 090-2819-9027  
※当日の急なキャンセルはこちらをお願いします。

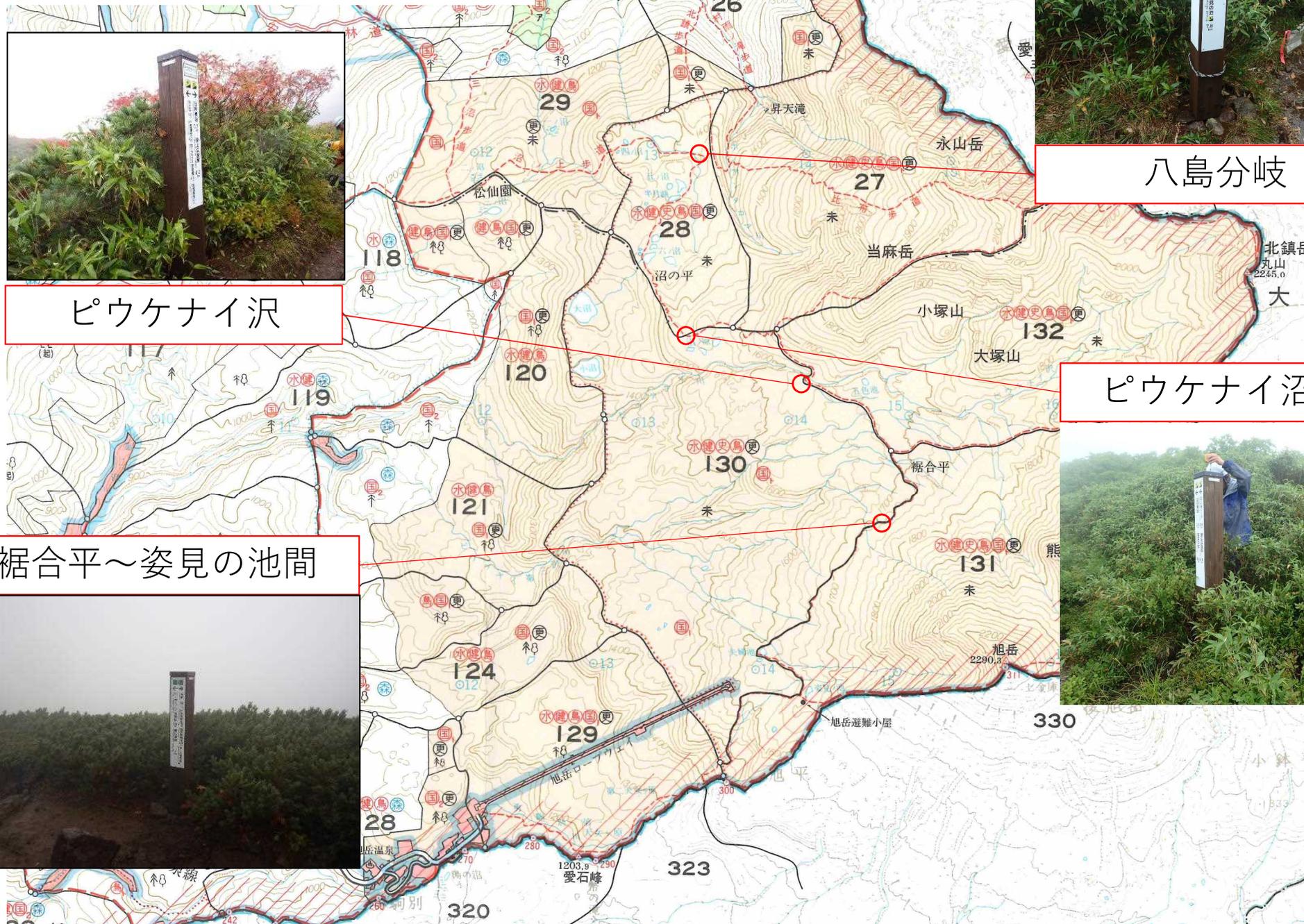
宛先:黒岳クリーンアップ大作戦事務局 荒井行

TEL&FAX 0166-82-6500(受付時間9:00-18:00) Email: desk@daisetsu.or.jp

(ふりがな) 参加者氏名	性別 男・女	生年月日 昭和・平成 年 月 日 歳
(ふりがな) 参加者氏名	性別 男・女	生年月日 昭和・平成 年 月 日 歳
(ふりがな) 参加者氏名	性別 男・女	生年月日 昭和・平成 年 月 日 歳
住所	電話番号 ファックス	なし
	メールアドレス	
備考	緊急時 携帯など	
	学校名・学年	年生

# 資料 2 - 4

大雪山グレードを明示した誘導標識への更新  
・沼ノ平姿見線道路（歩道）



ピウケナイ沼



八島分岐

ピウケナイ沼付近

裾合平～姿見の池間



大雪山グレードを明示した誘導標識及び案内標識への更新  
・トムラウシ山線道路（歩道）

前トム平



温泉コース分岐

短縮コース登山口



トムラウシ温泉登山口



## たまには山へ恩返しin愛山溪 登山道整備講習会

資料2-5

日時:2019年8月19日(土)8:30~17:30

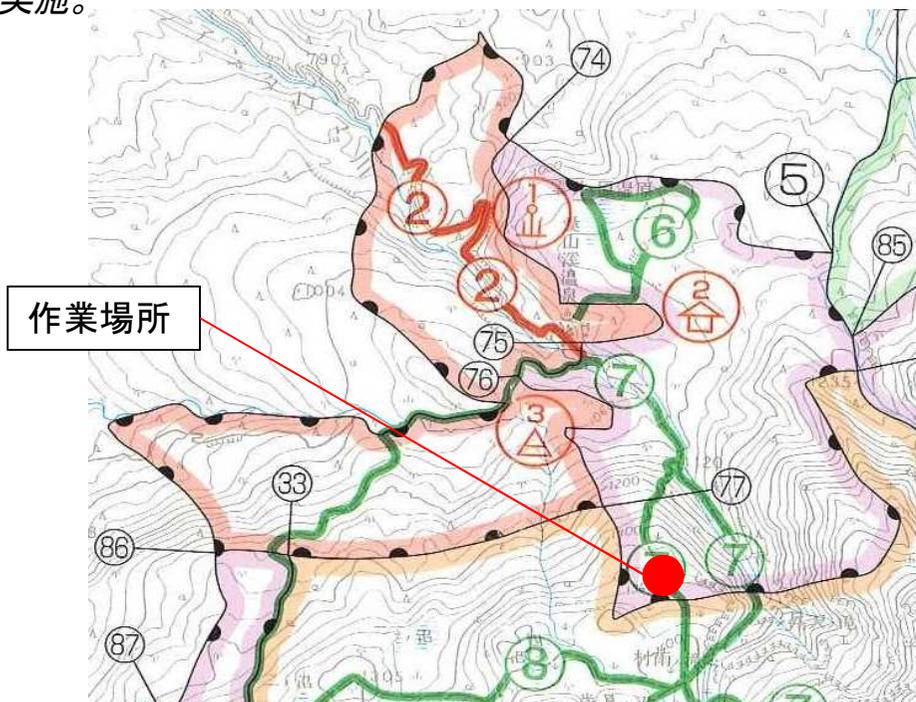
主催:環境省 上川自然保護官事務所

講師:北海道山岳整備 代表 岡崎哲三氏

場所:上川郡上川町愛山溪 愛山溪三十三曲~沼ノ平間の登山道

参加者:28名(山岳関係者、一般登山者)

※登山者にとって歩きやすい道にすることが、道脇の植生の保護につながる箇所で本講習会を実施。



# 1班

施工前	施工後
 A photograph showing a narrow, unpaved path made of small stones and dirt, winding through dense green vegetation. The path is flanked by tall grasses and various leafy plants. The ground is uneven and appears to be a natural or minimally cleared area.	 A photograph showing the same path after construction. The path is now wider and more defined, with a layer of larger stones and logs laid across it to reinforce the ground. A person in a green shirt is visible in the background, working on the path. The surrounding vegetation remains dense.

# 1班

施工前	施工後
	

## 2班

施工前	施工後
	

## 2班

施工前	施工後
	

## 2班

施工前	施工後
	

## 3班

施工前	施工後
	

# 3班

施工前	施工後
	

## 3班

施工前	施工後
 A photograph showing a steep, rocky slope before construction. The path is made of logs and stones, and the ground is uneven and rocky. The logs are laid out in a way that suggests they are being prepared for use as steps or retaining walls.	 A photograph showing the same slope after construction. The path is now more organized and stable, with logs and stones laid out in a way that suggests they are being used as steps or retaining walls. The ground is more uniform and the path is clearer.

## 4班

施工前	施工後
	

## 4班

施工前	施工後
	

## 4班

施工前	施工後
	

## 4班

施工前	施工後
	

## 4班

施工前	施工後
 A photograph showing a dirt path leading up a hillside. In the foreground, there is a simple barrier made of two horizontal logs. To the left of the path, a small stream flows over rocks. The path itself is uneven and appears to be in need of improvement. The surrounding area is lush with green vegetation, including bamboo.	 A photograph showing the same dirt path after construction. The path is now significantly wider and more stable, with a layer of dark soil or mulch. The wooden log barrier remains in the foreground. The stream is still visible on the left. The overall appearance is much more organized and safer for hiking.